

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-181794
(P2019-181794A)

(43) 公開日 令和1年10月24日(2019.10.24)

(51) Int.Cl.			F I			テーマコード (参考)		
B41J	29/42	(2006.01)	B41J	29/42		F	2C061	
G03G	21/00	(2006.01)	G03G	21/00		386	2H270	
H04N	1/00	(2006.01)	H04N	1/00		127B	5C062	
			H04N	1/00		350		

審査請求 未請求 請求項の数 19 O L (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2018-75134 (P2018-75134)
(22) 出願日 平成30年4月10日 (2018.4.10)

(71) 出願人 000001270
コニカミノルタ株式会社
東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
(74) 代理人 100114672
弁理士 官本 恵司
(72) 発明者 大迫 了敏
東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 コニカミノルタ株式会社内
Fターム(参考) 2C061 AP01 AP07 CQ04 CQ36 CQ43
HJ07 HK04 HK07 HK11 HN05
HN15
2H270 KA59 NC01 NC06 ND06 ND10
QA13 QA23 QA33 QA35 QA37
QA41 QB02 QB06 ZC03 ZC04

最終頁に続く

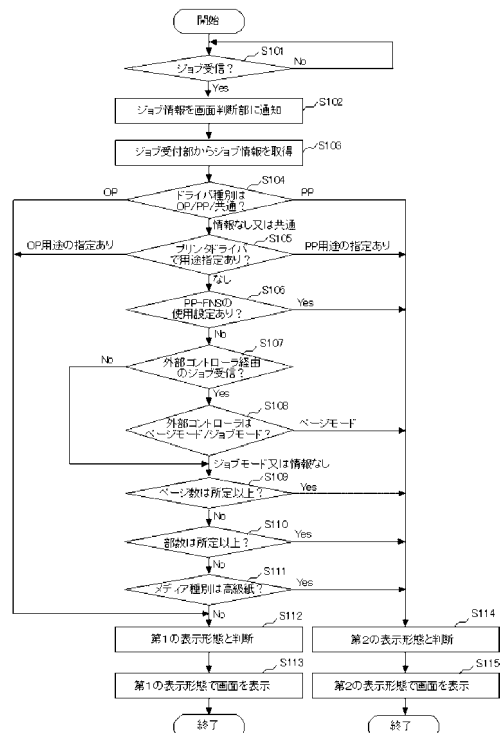
(54) 【発明の名称】 画像形成装置、表示制御プログラム及び表示制御方法

(57) 【要約】

【課題】ユーザが表示形態を切り替える操作を行うことなく、ユーザの用途に応じた表示形態で画面を表示する。

【解決手段】用紙に画像を形成する画像形成部と、同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部と、を備える画像形成装置は、画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析し、受信したジョブに含まれる情報（印刷ページ数や印刷部数、坪量、用紙の設定情報、後処理の設定情報、プリンタドライバの種別や設定情報、外部コントローラの設定情報など）に基づいて、第1の表示形態、又は、第1の表示形態とは異なる第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断し、表示部に、判断した表示形態で、受信したジョブに関連する画面を表示させる。

【選択図】 図5



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

用紙に画像を形成する画像形成部と、
 同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部と、
 前記画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析するジョブ受付部と、
 受信した前記ジョブに含まれる情報に基づいて、第 1 の表示形態又は前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断する画面判断部と、
 前記表示部に、前記画面判断部が判断した表示形態で、受信した前記ジョブに関連する画面を表示させる表示制御部と、を備える、
 ことを特徴とする画像形成装置。

10

【請求項 2】

前記画面判断部は、前記ジョブに含まれる印刷ページ数及び / 又は印刷部数の情報に基づいて、前記第 1 の表示形態か前記第 2 の表示形態かを判断する、
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記画面判断部は、前記ジョブに含まれるメディアの種別に基づいて、前記第 1 の表示形態か前記第 2 の表示形態かを判断する、
 ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記画面判断部は、前記ジョブに含まれるジョブ投入元のプリンタドライバの種別及び / 又は前記プリンタドライバの設定情報に基づいて、前記第 1 の表示形態か前記第 2 の表示形態かを判断する、
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかーに記載の画像形成装置。

20

【請求項 5】

前記画面判断部は、前記ジョブに含まれる後処理の設定情報に基づいて、前記第 1 の表示形態か前記第 2 の表示形態かを判断する、
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかーに記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記画面判断部は、外部コントローラを介して前記ジョブを受信する場合は、前記ジョブに含まれる前記外部コントローラの設定情報に基づいて、前記第 1 の表示形態か前記第 2 の表示形態かを判断する、
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかーに記載の画像形成装置。

30

【請求項 7】

前記第 2 の表示形態は、前記第 1 の表示形態よりも前記画面内の項目数が多い、
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかーに記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記第 2 の表示形態は、前記画面内に少なくとも坪量に関する項目を含み、前記第 1 の表示形態は、前記画面内に少なくとも坪量に関する項目を含まない、
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかーに記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記第 1 の表示形態は、オフィスプリント用途の表示形態であり、前記第 2 の表示形態は、プロダクションプリント用途の表示形態である、
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかーに記載の画像形成装置。

40

【請求項 10】

用紙に画像を形成する画像形成部を制御する装置で動作する表示制御プログラムであって、
 前記装置は、同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部を備え、
 前記装置に、
 前記画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析するジョブ受付処理、

50

受信した前記ジョブに含まれる情報に基づいて、第1の表示形態又は前記第1の表示形態とは異なる第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断する画面判断処理、前記表示部に、前記画面判断処理で判断された表示形態で、受信した前記ジョブに関連する画面を表示させる表示制御処理、を実行させる、ことを特徴とする表示制御プログラム。

【請求項11】

前記画面判断処理では、前記ジョブに含まれる印刷ページ数及び/又は印刷部数の情報に基づいて、前記第1の表示形態か前記第2の表示形態かを判断する、ことを特徴とする請求項10に記載の表示制御プログラム。

【請求項12】

前記画面判断処理では、前記ジョブに含まれるメディアの種別に基づいて、前記第1の表示形態か前記第2の表示形態かを判断する、ことを特徴とする請求項10又は11に記載の表示制御プログラム。

【請求項13】

前記画面判断処理では、前記ジョブに含まれるジョブ投入元のプリンタドライバの種別及び/又は前記プリンタドライバの設定情報に基づいて、前記第1の表示形態か前記第2の表示形態かを判断する、ことを特徴とする請求項10乃至12のいずれか一に記載の表示制御プログラム。

【請求項14】

前記画面判断処理では、前記ジョブに含まれる後処理の設定情報に基づいて、前記第1の表示形態か前記第2の表示形態かを判断する、ことを特徴とする請求項10乃至13のいずれか一に記載の表示制御プログラム。

【請求項15】

前記画面判断処理では、外部コントローラを介して前記ジョブを受信する場合は、前記ジョブに含まれる前記外部コントローラの設定情報に基づいて、前記第1の表示形態か前記第2の表示形態かを判断する、ことを特徴とする請求項10乃至14のいずれか一に記載の表示制御プログラム。

【請求項16】

前記第2の表示形態は、前記第1の表示形態よりも前記画面内の項目数が多い、ことを特徴とする請求項10乃至15のいずれか一に記載の表示制御プログラム。

【請求項17】

前記第2の表示形態は、前記画面内に少なくとも坪量に関する項目を含み、前記第1の表示形態は、前記画面内に少なくとも坪量に関する項目を含まない、ことを特徴とする請求項10乃至16のいずれか一に記載の表示制御プログラム。

【請求項18】

前記第1の表示形態は、オフィスプリント用途の表示形態であり、前記第2の表示形態は、プロダクションプリント用途の表示形態である、ことを特徴とする請求項10乃至17のいずれか一に記載の表示制御プログラム。

【請求項19】

用紙に画像を形成する画像形成部を含む印刷システムにおける表示制御方法であって、前記画像形成部を制御する装置は、同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部を備え、前記装置は、前記画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析するジョブ受付処理と、受信した前記ジョブに含まれる情報に基づいて、第1の表示形態又は前記第1の表示形態とは異なる第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断する画面判断処理と、前記表示部に、前記画面判断処理で判断された表示形態で、受信した前記ジョブに関連する画面を表示させる表示制御処理と、を実行する、ことを特徴とする表示制御方法。

【発明の詳細な説明】

10

20

30

40

50

【技術分野】

【0001】

本発明は、画像形成装置、表示制御プログラム及び表示制御方法に関し、特に、オフィスプリント機とプロダクションプリント機の双方の機能を備える画像形成装置、当該画像形成装置に表示する画面を制御する表示制御プログラム及び表示制御方法に関する。

【背景技術】

【0002】

オフィスプリント機とプロダクションプリント機とでは、ユーザの用途が異なり、ユーザが操作するにあたり重視する機能が異なる。このため、各々の装置では、ユーザが重視する機能の操作性を考慮した構成の画面を表示していた。

10

【0003】

近年、オフィスプリント機とプロダクションプリント機の両方の機能を備える画像形成装置が提案されており、このような画像形成装置では、オフィスプリント機として使用する場合はオフィスプリント用途の表示形態で、プロダクションプリント機として使用する場合はプロダクションプリント用途の表示形態で、といったように、それぞれのユーザの用途に合わせた表示形態で画面を表示することが想定される。

【0004】

オフィスプリント機とプロダクションプリント機の両方の機能を備えるひとつの画像形成装置を、同時にオフィスプリント機としてもプロダクションプリント機としても使用するケースでは、オフィスプリント機、プロダクションプリント機のそれぞれを使用するユーザに適するように、適時、画面の切り替えができることが望ましい。

20

【0005】

このようなオフィスプリント機とプロダクションプリント機の両方の機能を備える画像形成装置に関する発明ではないが、画像形成装置の画面の切り替えに関する技術として、例えば、下記特許文献1には、ジョブ設定を行うための複数の表示画面を切り替え表示し、この複数の表示画面は基本画面と基本画面から切り替え可能な複数の機能リスト画面とを備えた操作表示部を有する画像形成装置において、前記複数の機能リスト画面に、機能画面へ切り替えるための機能選択キーを複数表示する通常表示モードと、前記通常表示モードの機能リスト画面に表示する機能選択キーの幾つかを一つの機能リスト画面に表示するシンプル表示モードと、前記通常表示モードと前記シンプル表示モードとを切替える表示モード切り替え手段とを有する構成が開示されている。

30

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】特開2003-247039号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

上記特許文献1では、例えば、初期画面（コピーできます画面やコピー、スキャンといった各機能の選択画面）に表示されるソフトキーで、初期画面を切り替える（ユーザの好みや熟達度に応じて通常表示モードとシンプル表示モードとを切り替える）ことができる。この先行技術を利用すれば、オフィスプリント機とプロダクションプリント機の両方の機能を備える画像形成装置においては、オフィスプリント用途の画面とプロダクションプリント用途の画面とを適時ユーザ操作によって切り替えることができる。すなわち、このような画像形成装置を使用する場合において、画面を操作してジョブを受け付ける場合は、はじめにオフィスプリント用途又はプロダクションプリント用途を選択すれば、ユーザに応じた画面を表示することができる。

40

【0008】

ここで、ユーザがプリントジョブを実行する場合は、クライアント端末から画像形成装置にジョブを送信する際には画像形成装置の操作は行わないため、ユーザがジョブ送信前

50

に画像形成装置のユーザインタフェースに接することはなく、ユーザが実際に画像形成装置のユーザインタフェースに接するのは、ジョブ送信後の設定画面以外のトラブル発生時やジョブの状態確認/操作時、ジョブのキャンセル操作時などである。

【0009】

このため、先行技術に従えば、トラブル発生時やジョブの状態確認/操作時、ジョブのキャンセル操作時において、ユーザの用途に応じてユーザ自身が画面の切り替え操作を実施しなければならず、ユーザの手間になってしまう。

【0010】

また、初期画面のような比較的わかりやすい画面で切り替え操作を実施する場合は、ユーザの間違いや戸惑いが発生しにくい。しかしながら、トラブル発生時やジョブの状態確認時、キャンセル操作時などのように、ユーザが急いで操作する場面において、ユーザが慣れていない表示形態の画面が表示されてしまうと、ユーザは慣れていない画面上で操作しなければならない状況が発生してしまう。

10

【0011】

すなわち、オフィスプリント機とプロダクションプリント機とでは、同一の機能であっても用途に応じて画面の表示形態(レイアウトや表現方法、表示内容)が異なり、表示形態が異なるとユーザが受ける印象が大きく変化する。その結果、突然、慣れていない表示形態の画面が表示されると、ユーザの間違いや戸惑いが発生しやすくなり、適切な操作を迅速に行うことができなくなってしまう。

【0012】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであって、その主たる目的は、ユーザが表示形態を切り替える操作を行うことなく、ユーザの用途に応じた表示形態で画面を表示することができる画像形成装置、表示制御プログラム及び表示制御方法を提供することにある。

20

【課題を解決するための手段】

【0013】

本発明の一側面は、用紙に画像を形成する画像形成部と、同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部と、前記画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析するジョブ受付部と、受信した前記ジョブに含まれる情報に基づいて、第1の表示形態又は前記第1の表示形態とは異なる第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断する画面判断部と、前記表示部に、前記画面判断部が判断した表示形態で、受信した前記ジョブに関連する画面を表示させる表示制御部と、を備えることを特徴とする。

30

【0014】

本発明の一側面は、用紙に画像を形成する画像形成部を制御する装置で動作する表示制御プログラムであって、前記装置は、同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部を備え、前記装置に、前記画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析するジョブ受付処理、受信した前記ジョブに含まれる情報に基づいて、第1の表示形態又は前記第1の表示形態とは異なる第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断する画面判断処理、前記表示部に、前記画面判断処理で判断された表示形態で、受信した前記ジョブに関連する画面を表示させる表示制御処理、を実行させることを特徴とする。

40

【0015】

本発明の一側面は、用紙に画像を形成する画像形成部を含む印刷システムにおける表示制御方法であって、前記画像形成部を制御する装置は、同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部を備え、前記装置は、前記画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析するジョブ受付処理と、受信した前記ジョブに含まれる情報に基づいて、第1の表示形態又は前記第1の表示形態とは異なる第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断する画面判断処理と、前記表示部に、前記画面判断処理で判断された表示形態で、受信した前記ジョブに関連する画面を表示させる表示制

50

御処理と、を実行することを特徴とする。

【発明の効果】

【0016】

本発明の画像形成装置、表示制御プログラム及び表示制御方法によれば、ユーザが表示形態を切り替える操作を行うことなく、ユーザの用途に応じた表示形態で画面を表示することができる。

【0017】

その理由は、用紙に画像を形成する画像形成部と同一の機能に対して用途に応じて表示形態が異なる画面を表示可能な表示部とを備える画像形成装置は、画像形成部への画像形成を指示するジョブを受信して解析し、受信したジョブに含まれる情報に基づいて、第1の表示形態、又は、第1の表示形態とは異なる第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断し、表示部に、判断した表示形態で、受信したジョブに関連する画面を表示させるからである。

10

【図面の簡単な説明】

【0018】

【図1】本発明の一実施例に係る印刷システムの構成を示す模式図である。

【図2】本発明の一実施例に係る印刷システムの他の構成を示す模式図である。

【図3】本発明の一実施例に係るクライアント端末の構成を示すブロック図である。

【図4】本発明の一実施例に係る画像形成装置の構成を示すブロック図である。

【図5】本発明の一実施例に係る画像形成装置の動作を示すフローチャート図である。

20

【図6】本発明の一実施例に係る画像形成装置に表示されるオフィスプリント用途の画面（トップメニュー画面）を示す模式図である。

【図7】本発明の一実施例に係る画像形成装置に表示されるオフィスプリント用途の画面（実行中ジョブ表示画面）を示す模式図である。

【図8】本発明の一実施例に係る画像形成装置に表示されるオフィスプリント用途の画面（履歴表示画面）を示す模式図である。

【図9】本発明の一実施例に係る画像形成装置に表示されるプロダクションプリント用途の画面（トップメニュー画面）を示す模式図である。

【図10】本発明の一実施例に係る画像形成装置に表示されるプロダクションプリント用途の画面（ジョブリスト画面）を示す模式図である。

30

【図11】本発明の一実施例に係る画像形成装置に表示されるプロダクションプリント用途の画面（出力予約ジョブ表示画面）を示す模式図である。

【図12】本発明の一実施例に係る画像形成装置に表示されるプロダクションプリント用途の画面（履歴表示画面）を示す模式図である。

【図13】オフィスプリント機の画面（ジャム画面）を示す模式図である。

【図14】プロダクションプリント機の画面（ジャム画面）を示す模式図である。

【発明を実施するための形態】

【0019】

背景技術で示したように、オフィスプリント機とプロダクションプリント機とでは、ユーザの用途が異なり、ユーザが操作するにあたり重視する機能が異なるため、各々の装置では、ユーザが重視する機能の操作性を考慮した構成の画面を表示していた。一方、オフィスプリント機とプロダクションプリント機の両方の機能を備える画像形成装置では、それぞれのユーザの用途に合わせた表示形態（オフィスプリント機として使用する場合はオフィスプリント用途の表示形態、プロダクションプリント機として使用する場合はプロダクションプリント用途の表示形態）で画面を表示することが想定される。このオフィスプリント用途の表示形態とプロダクションプリント用途の表示形態の性質を表1に示す。

40

【0020】

【表 1】

表示形態	表示形態の性質
オフィスプリント用途の表示形態	あまり操作に慣れないユーザでも分かりやすいように、シンプルかつ簡便な画面構成であり、コピー画面では出力イメージの表示が大きな面積を占める（デフォルト時）。 ユーザは用紙種別にこだわらないため、用紙種別についての情報は少ない。
プロダクションプリント用途の表示形態	操作に慣れたユーザが効率的に操作できる画面構成であり、ひとつの画面から実施できることが多い。 様々な用紙種別に対して高画質で印刷できることを重要視されるため、例えばコピー画面では用紙種別・トレイの選択が大きな面積を占める。

10

【0021】

このようにオフィスプリント用途とプロダクションプリント用途とでは表示形態の性質が異なるため、オフィスプリント機、プロダクションプリント機のそれぞれを使用するユーザに適するように、適時、画面の切り替えができることが望ましい。この画面の切り替えに関して、特許文献1では、初期画面に表示されるソフトキーで初期画面を切り替える技術を開示しており、この技術を利用すれば、オフィスプリント用途の画面とプロダクションプリント用途の画面とを適時ユーザ操作によって切り替えることができる。

20

【0022】

しかしながら、ユーザがプリントジョブを実行する場合は、ユーザが実際に画像形成装置のユーザインタフェースに接するのは、ジョブ送信後の設定画面以外のトラブル発生時やジョブの状態確認/操作時、ジョブのキャンセル操作時などであり、その際に、ユーザの用途に応じてユーザ自身が画面の切り替え操作を実施しなければならず、ユーザの手間になってしまう。

【0023】

また、トラブル発生時やジョブの状態確認時、キャンセル操作時などのように、ユーザが急いで操作する場面において、ユーザが慣れていない表示形態の画面が表示されてしまうと、ユーザは慣れていない画面上で操作をしなければならない。例えば、紙詰まりが発生した場合を考えると、オフィスプリント機では、操作に慣れていないユーザが使用する機会が多いことから、図13(a)、(b)に示すように、ジャムの概略位置をグラフィカルに表示するジャム画面80が表示されるが、プロダクションプリント機では、操作に慣れたユーザが使用する機会が多いことから、図14に示すように、文字ベースで簡潔にジャムの正確な位置を表示する(例えば「垂直搬送扉」のような専門用語で位置を示す)ジャム画面81が表示される。

30

【0024】

すなわち、オフィスプリント機とプロダクションプリント機とでは、同一の機能であっても用途に応じて画面の表示形態(レイアウトや表現方法、表示内容)が異なり、表示形態が異なるとユーザが受ける印象が大きく変化するため、突然、慣れていない表示形態の画面が表示されると、ユーザの間違いや戸惑いが発生しやすくなり、適切な操作を迅速に行うことができなくなってしまう。

40

【0025】

そこで、本発明の一実施の形態では、オフィスプリント機とプロダクションプリント機の両方の機能を備える画像形成装置において、画像形成装置に投入されるジョブを受信して解析し、そのジョブに含まれる情報(印刷ページ数や印刷部数、用紙の設定情報、プリンタドライバの種別や設定情報、後処理の設定情報、外部コントローラの設定情報など)に基づいて、第1の表示形態(オフィスプリント用途の表示形態)あるいは第2の表示形態(プロダクションプリント用途の表示形態)のどちらで画面を表示すべきかを判断し、

50

その判断結果に従って、受信したジョブに関連する画面を表示するように制御する。

【0026】

これにより、ユーザが表示形態を切り替える操作を行う必要がなくなり、また、ユーザが慣れていない画面上で操作を行うことによる間違いや戸惑いの発生を防止することができ、適切な操作を迅速に行うことができる。

【実施例】

【0027】

上記した本発明の一実施の形態についてさらに詳細に説明すべく、本発明の一実施例に係る画像形成装置、表示制御プログラム及び表示制御方法について、図1乃至図12を参照して説明する。図1及び図2は、本実施例の印刷システムの構成を示す模式図であり、図3は、本実施例のクライアント端末の構成を示すブロック図、図4は、本実施例の画像形成装置の構成を示すブロック図である。また、図5は、本実施例の画像形成装置の動作を示すフローチャート図であり、図6乃至図8は、オフィスプリント用途の画面を示す模式図、図9乃至図12は、プロダクションプリント用途の画面を示す模式図である。

10

【0028】

図1に示すように、本実施例の印刷システム10は、クライアント端末20と画像形成装置40などで構成される。これらは、イーサネット（登録商標）、トークンリング、FDDI（Fiber-Distributed Data Interface）等の規格により定められるLAN（Local Area Network）やWAN（Wide Area Network）等の通信ネットワーク50を介して接続されている。なお、図1では、印刷システム10をクライアント端末20と画像形成装置40とで構成としたが、図2に示すように、通信ネットワーク50に外部コントローラ30が接続され、外部コントローラ30と画像形成装置40とが、LANやWAN、又は、PCI（Peripheral Component Interconnect）接続などの専用線で接続される構成としてもよい。以下、図1の構成を前提にして、各装置について説明する。

20

【0029】

[クライアント端末]

クライアント端末20は、パーソナルコンピュータなどのコンピュータ装置であり、画像形成装置40（又は、外部コントローラ30）にジョブを送信する。このクライアント端末20は、図3（a）に示すように、制御部21、記憶部25、ネットワークI/F部26、表示部27、操作部28などで構成される。

30

【0030】

制御部21は、CPU（Central Processing Unit）22と、ROM（Read Only Memory）23やRAM（Random Access Memory）24などのメモリとで構成され、CPU22は、ROM23や記憶部25に記憶した制御プログラムをRAM24に展開して実行することにより、クライアント端末20全体の動作を制御する。また、図3（b）に示すように、上記制御部21（CPU22）により、OS（Operating System）21a、アプリケーション21b、プリンタドライバ21cなどが実行される。

【0031】

OS21aは、Windows（登録商標）やMacintosh（登録商標）、Android（登録商標）などであり、クライアント端末20でアプリケーション21b、プリンタドライバ21cなどを動作可能にする。

40

【0032】

アプリケーション21bは、例えば、原稿作成を行うソフトウェアであり、印刷指示の際にプリンタドライバ21cを読み出し、アプリケーション21bで作成した原稿データをプリンタドライバ21cに転送する。

【0033】

プリンタドライバ21cは、アプリケーション21bで作成した原稿データを、画像形成装置40（又は、外部コントローラ30）が解釈可能な言語のジョブ（PJL（Printer Job Language）やPS（PostScript）、PCL（Printer Control Language）等のページ記述言語で記述されたPDL（Page Description Language）データ、または、PDF

50

(Portable Document Format)データ)に変換し、当該ジョブを画像形成装置40(又は、外部コントローラ30)に送信する。その際、プリンタドライバ21cは、表示部27に印刷設定画面を表示させ、その設定情報(本実施例では、印刷ページ数や印刷部数、坪量、メディアの種別、プリンタドライバの種別、オフィスプリント用途又はプロダクションプリント用途の指定、後処理装置の使用設定など)をプリントチケットなどに記述してジョブに付加する。

【0034】

記憶部25は、HDD(Hard Disk Drive)やSSD(Solid State Drive)などで構成され、CPU22が各部を制御するためのプログラム、原稿データ、ジョブなどを保存する。

【0035】

ネットワークI/F部26は、NIC(Network Interface Card)やモデムなどで構成され、クライアント端末20を通信ネットワーク50に接続し、画像形成装置40(又は、外部コントローラ30)にジョブを送信する。

【0036】

表示部27は、液晶表示装置(LCD:Liquid Crystal Display)や有機EL(electroluminescence)表示装置などで構成され、アプリケーション21bの原稿作成画面、プリンタドライバ21cの印刷設定画面などを表示する。

【0037】

操作部28は、マウスやキーボードなどで構成され、アプリケーション21bを用いた原稿の作成、プリンタドライバ21cを用いた印刷設定などの操作を可能にする。

【0038】

[画像形成装置]

画像形成装置40は、クライアント端末20から受信したジョブに基づいて印刷処理を実行するMFP(Multi-Functional Peripherals)などであり、本実施例では、オフィスプリント機とプロダクションプリント機の双方の機能を備える。この画像形成装置40は、図4(a)に示すように、制御部41、記憶部45、ネットワークI/F部46、表示操作部47、画像処理部48、画像形成部49などで構成される。

【0039】

制御部41は、CPU42とROM43やRAM44などのメモリとで構成され、CPU42は、ROM43や記憶部45に記憶した制御プログラムをRAM44に展開して実行することにより、画像形成装置40全体の動作を制御する。上記制御部41は、図4(b)に示すように、ジョブ受付部41a、画面判断部41b、表示制御部41c、ユーザ情報取得部41dなどとして機能する。

【0040】

ジョブ受付部41aは、クライアント端末20からのジョブ投入を受け付ける。そして、ジョブを受け付けると当該ジョブを解析し、画像形成部49に対して画像形成の指示を行うと共に、画面判断部41bに対してジョブ情報の通知を行う。

【0041】

画面判断部41bは、ジョブ受付部41aからジョブ情報を受け取ると、ジョブ情報(印刷ページ数や印刷部数、用紙の設定情報(メディアの種別)、プリンタドライバ21cの種別や設定情報(用途指定)、後処理の設定情報、外部コントローラの設定情報(ページモード/ジョブモード)など)に基づいて、オフィスプリント用途の表示形態(第1の表示形態とする。)とプロダクションプリント用途の表示形態(第2の表示形態とする。)のどちらで画面を表示すべきかを判断し、判断結果を表示制御部41cに通知する。また、画面判断部41bは、必要に応じて、表示しようとする画面が特定のジョブのための画面ではない(ジョブ情報が存在しない)場合は、ユーザ情報取得部41dにユーザ情報の取得を要求し、ユーザ情報取得部41dから取得したユーザ情報に基づいて、第1の表示形態と第2の表示形態のどちらで画面を表示すべきかを判断し、判断結果を表示制御部41cに通知する。この画面判断部41bの動作の詳細は後述する。

10

20

30

40

50

【 0 0 4 2 】

なお、プロダクションプリント用途では、ユーザが画像形成装置 4 0 の操作に熟達していることから、オフィスプリント用途に比べて、1 つの画面に表示される項目数は多い。また、プロダクションプリント用途では、高画質、高生産性の印刷のために用紙に対して細かい設定が可能であることから、画面内に少なくとも坪量に関する項目を含み、オフィスプリント用途では、ユーザの利便性を考慮し、おおまかな設定が可能であればよいことから、画面内に少なくとも坪量に関する項目を含まない。

【 0 0 4 3 】

表示制御部 4 1 c は、画面判断部 4 1 b から判断結果を受け取ると、その判断結果に従って、表示操作部 4 7 に第 1 の表示形態又は第 2 の表示形態のいずれかで、受信したジョブに関連する画面を表示させる。また、画面上で選択や編集などの操作が行われた場合は、画像形成部 4 9 に対してその操作に応じた画像形成の変更指示を行う。なお、サービスマン向けの画面のような一般ユーザには提示しない画面の場合は、画面判断部 4 1 b の判断結果にかかわらず、サービス用途の表示形態（第 3 の表示形態と呼ぶ。）で画面を表示させることができる。

10

【 0 0 4 4 】

ユーザ情報取得部 4 1 d は、画面判断部 4 1 b からユーザ情報の取得要求を受け付け、画像形成装置 4 0 の記憶部 4 5 などに記憶されたユーザ情報を取得し、画像形成装置 4 0 を使用するユーザに対応するユーザ情報を画面判断部 4 1 b に通知する。なお、ユーザ情報は、ID / パスワードの入力による認証や、ID カードでの認証、指紋認証などによって識別されたユーザについての登録情報であり、その識別方法は問わない。また、ユーザ情報の取得に失敗した場合は、失敗した旨を画面判断部 4 1 b に通知することができる。

20

【 0 0 4 5 】

上記ジョブ受付部 4 1 a、画面判断部 4 1 b、表示制御部 4 1 c、ユーザ情報取得部 4 1 d は、ハードウェアとして構成してもよいし、制御部 4 1 をジョブ受付部 4 1 a、画面判断部 4 1 b、表示制御部 4 1 c、ユーザ情報取得部 4 1 d（特に、ジョブ受付部 4 1 a、画面判断部 4 1 b、表示制御部 4 1 c）として機能させる表示制御プログラムとして構成し、当該表示制御プログラムを CPU 4 2 に実行させるようにしてもよい。

【 0 0 4 6 】

記憶部 4 5 は、HDD や SSD など構成され、CPU 4 2 が各部を制御するためのプログラム、自装置の処理機能に関する情報、ジョブ、画像処理部 4 8 が生成した印刷用の画像データ、ユーザ情報などを記憶する。

30

【 0 0 4 7 】

ネットワーク I / F 部 4 6 は、NIC やモデムなどで構成され、画像形成装置 4 0 を通信ネットワーク 5 0 に接続し、クライアント端末 2 0 からジョブを受信する。

【 0 0 4 8 】

表示操作部 4 7 は、表示部上に透明電極が格子状に配置された感圧式の操作部（タッチセンサ）を設けたタッチパネルなどであり、各種画面を表示し、各種操作を可能にする。本実施例では、同一の機能に対して、用途に応じて表示形態が異なる画面、例えば、オフィスプリント用途の表示形態の各種画面（後述するトップメニュー画面、実行中ジョブ表示画面、履歴表示画面など）及びプロダクションプリント用途の表示形態の各種画面（後述するトップメニュー画面、ジョブリスト画面、出力予約ジョブ表示画面、履歴表示画面など）を表示する。なお、ここでは、表示操作部 4 7 を表示部と操作部とが一体となったタッチパネルとしているが、表示部と操作部とは別々の装置としてもよい。

40

【 0 0 4 9 】

画像処理部 4 8 は、RIP 部（Raster Image Processor）として機能し、ジョブから中間データ（中間言語であるディスプレイリスト（DL : Display List））を生成し、原稿の各ページをラスタライズしてビットマップ形式の画像データを生成する。また、画像処理部 4 8 は、必要に応じて、画像データに対して、スクリーン処理、階調補正、濃度バランス調整、細線化、網点処理などを行う。そして、画像処理部 4 8 は、生成した画像デー

50

タを画像形成部 4 9 に出力する。

【 0 0 5 0 】

画像形成部 4 9 は、ジョブ受付部 4 1 a からの画像形成の指示や、表示制御部 4 1 c からの画像形成の変更指示を受け付けて画像形成を行い、表示制御部 4 1 c に対して画像形成の状態を通知する。その際、他のジョブが画像形成を実行中であれば、他のジョブの画像形成完了を待って、指示されたジョブに対する画像形成を実施し、指示されたジョブの実行を保留することができる。保留したジョブについては、ユーザが任意に変更、キャンセルをすることができる。

【 0 0 5 1 】

なお、図 1 乃至図 4 は、本実施例の印刷システム 1 0 の一例であり、その構成や制御は適宜変更可能である。例えば、図 4 では、画像形成装置 4 0 の制御部 4 1 をジョブ受付部 4 1 a、画面判断部 4 1 b、表示制御部 4 1 c、ユーザ情報取得部 4 1 d として機能させる（CPU 4 2 に表示制御プログラムを実行させる）構成としたが、印刷システム 1 0 に外部コントローラ 3 0 を備える場合は、外部コントローラ 3 0 の制御部をジョブ受付部、画面判断部、表示制御部、ユーザ情報取得部として機能させる（制御部の CPU に表示制御プログラムを実行させる）構成としてもよい。

10

【 0 0 5 2 】

以下、本実施例の画像形成装置 4 0 の動作について説明する。CPU 4 2 は、ROM 4 3 又は記憶部 4 5 に記憶した表示制御プログラムを RAM 4 4 に展開して実行することにより、図 5 のフローチャート図に示す各ステップの処理を実行する。なお、図では、オフィスプリントを O P、プロダクションプリントを P P と略記し、後処理を F N S と略記する。

20

【 0 0 5 3 】

まず、ジョブ受付部 4 1 a は、クライアント端末 2 0 からのジョブを監視し（S 1 0 1）、ジョブを受信したら（S 1 0 1 の Y e s）、ジョブを解析して画面判断部 4 1 b にジョブ情報を通知する（S 1 0 2）。画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報を取得すると（S 1 0 3）、ジョブ情報に基づいて以下に示す表示形態の判断を行う。

【 0 0 5 4 】

まず、画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報に基づいてプリンタドライバの種別を判断する（S 1 0 4）。プリンタドライバがオフィスプリント機向けの種別であれば、第 1 の表示形態（オフィスプリント用途の表示形態）で画面を表示すべきと判断し（S 1 1 2）、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 1 の表示形態の画面を表示させる（S 1 1 3）。また、プリンタドライバの種別がプロダクションプリント機の種別であれば、第 2 の表示形態（プロダクションプリント用途の表示形態）で画面を表示すべきと判断し（S 1 1 4）、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 2 の表示形態の画面を表示させる（S 1 1 5）。また、ジョブ情報にプリンタドライバの種別の情報がない場合、あるいは、プリンタドライバの種別がオフィスプリント機及びプロダクションプリント機の共通向けの種別の場合は、次ステップ（S 1 0 5）を実行する。

30

【 0 0 5 5 】

次に、画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報にプリンタドライバ 2 1 c の設定情報にオフィスプリント用途、あるいはプロダクションプリント用途の指定があるかを判断する（S 1 0 5）。プリンタドライバ 2 1 c の設定情報にオフィスプリント用途の指定があれば、第 1 の表示形態（オフィスプリント用途の表示形態）で画面を表示すべきと判断し（S 1 1 2）、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 1 の表示形態の画面を表示させる（S 1 1 3）。また、プリンタドライバ 2 1 c の設定情報にプロダクションプリント用途の指定があれば、第 2 の表示形態（プロダクションプリント用途の表示形態）で画面を表示すべきと判断し（S 1 1 4）、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 2 の表示形態の画面を表示させる（S 1 1 5）。また、プリンタドライバ 2 1 c の設定情報に用途の指定がない場合は、次ステップ（S 1 0 6）を実行する。

40

【 0 0 5 6 】

50

次に、画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報にプロダクションプリント機向けの後処理装置の使用設定があるかを判断する (S 1 0 6)。プロダクションプリント機向けの後処理装置の使用設定があれば (S 1 0 6 の Y e s)、第 2 の表示形態 (プロダクションプリント用途の表示形態) で画面を表示すべきと判断し (S 1 1 4)、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 2 の表示形態の画面を表示させる (S 1 1 5)。プロダクションプリント機向けの後処理装置に関する情報がない場合は (S 1 0 6 の N o)、次ステップ (S 1 0 7) を実行する。

【 0 0 5 7 】

次に、画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報に基づいて外部コントローラ 3 0 経由のジョブ受信であるかを判断する (S 1 0 7)。外部コントローラ 3 0 経由のジョブ受信であれば (S 1 0 7 の Y e s)、外部コントローラ 3 0 との接続がページモード (ページ単位でのデータ通信) であるか、ジョブモード (ジョブ単位でのデータ通信) であるかを判断する (S 1 0 8)。ページモードの場合は画像形成装置 4 0 の負荷が小さく、高いパフォーマンスを発揮でき、プロダクションプリント用途向けであることから、外部コントローラ 3 0 との接続がページモードであれば、第 2 の表示形態 (プロダクションプリント用途の表示形態) で画面を表示すべきと判断し (S 1 1 4)、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 2 の表示形態の画面を表示させる (S 1 1 5)。外部コントローラ 3 0 との接続がジョブモードであった場合、あるいは外部コントローラ 3 0 との接続に関する情報がなかった場合は、次ステップ (S 1 0 9) を実行する。

10

【 0 0 5 8 】

次に、画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報に基づいて印刷ページ数が所定ページ数以上であるかを判断する (S 1 0 9)。印刷ページ数が所定ページ数以上であれば (S 1 0 9 の Y e s)、第 2 の表示形態 (プロダクションプリント用途の表示形態) で画面を表示すべきと判断し (S 1 1 4)、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 2 の表示形態の画面を表示させる (S 1 1 5)。印刷ページ数が所定ページ数に満たなかった場合は (S 1 0 9 の N o)、次ステップ (S 1 1 0) を実行する。なお、所定ページ数は、予め設定されていてもよいし、ユーザが設定してもよく、その設定方法は問わないが、通常プロダクションプリントでは印刷ページ数が 1 0 0 0 ページ以上となる場合が多いことから、所定ページ数は 1 0 0 0 ページとすることができる。

20

【 0 0 5 9 】

次に、画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報に基づいて印刷部数が所定部数以上であるかを判断する (S 1 1 0)。印刷部数が所定部数以上であれば (S 1 1 0 の Y e s)、第 2 の表示形態 (プロダクションプリント用途の表示形態) で画面を表示すべきと判断し (S 1 1 4)、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 2 の表示形態の画面を表示させる (S 1 1 5)。印刷部数が所定部数に満たなかった場合は (S 1 1 0 の N o)、次ステップ (S 1 1 1) を実行する。なお、所定部数は、予め設定されていてもよいし、ユーザが設定してもよく、その設定方法は問わないが、通常プロダクションプリントでは印刷部数が 1 0 0 部以上となる場合が多いことから、所定部数は 1 0 0 部とすることができる。

30

【 0 0 6 0 】

次に、画面判断部 4 1 b は、ジョブ情報に基づいてメディア (用紙) の種別が通常プロダクションプリントで使用される高級紙であるかを判断する (S 1 1 1)。メディアの種別が高級紙であれば (S 1 1 1 の Y e s)、第 2 の表示形態 (プロダクションプリント用途の表示形態) で画面を表示すべきと判断し (S 1 1 4)、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 2 の表示形態の画面を表示させる (S 1 1 5)。メディアの種別が高級紙でなかった場合、あるいは、プロダクションプリント用途の表示形態で画面を表示すべきと判断されなかった場合 (S 1 1 1 の N o)、画面判断部 4 1 b は、第 1 の表示形態 (オフィスプリント用途の表示形態) で画面を表示すべきと判断し (S 1 1 2)、表示制御部 4 1 c は、表示操作部 4 7 に第 1 の表示形態の画面を表示させる (S 1 1 3)。

40

【 0 0 6 1 】

なお、上記フローでは、表示形態の判断に際して、プリンタドライバ 2 1 c の種別、プ

50

リンドライバ21cの用途指定、プロダクションプリント機向けの後処理装置の使用設定、外部コントローラ30との接続モード、印刷ページ数、印刷部数、メディアの種別について判断したが、判断する項目の内容や数、判断の順序は適宜変更可能であり、図5のフローに限定されない。

【0062】

以下、図6乃至図12の画面例を参照して、第1の表示形態（オフィスプリント用途の表示形態）と第2の表示形態（プロダクションプリント用途の表示形態）について具体的に説明する。

【0063】

図6は、オフィスプリント用途の表示形態のトップメニュー画面60の一例である。オフィスプリント用途のトップメニュー画面60では、例えば、操作に不慣れなユーザでも分かりやすいように、少数のタブ（ここでは「ユニバーサル設定」、「カウンター」、「機能検索」、「ジョブ表示」の4つのタブ）が表示される。また、操作に不慣れなユーザが機能を選択しやすいように、各機能のイラストと名称を記載したボタンが画面に大きく表示される。

10

【0064】

そして、トップメニュー画面60で「ジョブ表示」のタブを選択すると、図7に示す実行中ジョブ表示画面61が表示される。この実行中ジョブ表示画面61では、例えば、操作に不慣れなユーザでも分かりやすいように、少数のタブ（ここでは「実行中」、「履歴」、「通信リスト」の3つのタブ）が表示される。また、操作に不慣れなユーザがジョブの内容を確認しやすいように、文書名/宛先の項目が表示され、また、オフィスプリント用途では印刷部数はそれほど多くないため、部数の項目は表示されない。

20

【0065】

また、実行中ジョブ表示画面61で「履歴」のタブを選択すると、図8に示す履歴表示画面62が表示される。この履歴表示画面62でも、例えば、操作に不慣れなユーザがジョブの内容を確認しやすいように、文書名/宛先の項目が表示され、オフィスプリント用途では印刷部数はそれほど多くないため、部数の項目は表示されない。また、操作に不慣れなユーザは、多数のジョブが表示されると所望のジョブを見つけにくくなることから、絞り込み条件（ここでは「全ジョブ」、「終了ジョブ」、「消去ジョブ」の3つの条件）が選択可能に表示される。

30

【0066】

一方、図9は、プロダクションプリント用途の表示形態のトップメニュー画面70の一例である。プロダクションプリント用途のトップメニュー画面70では、例えば、操作に慣れたユーザが1つの画面で様々な操作ができるように、様々な操作に対応するタブ（ここでは「機械状態」、「ジョブリスト」、「読出し」、「保存」、「コピー」、「スキャン」の6つのタブ）が表示される。また、トップメニュー画面70でユーザが装置の状態を把握できるように、出力状態や原稿カウンター、メモリ残量、予約ジョブ数、出力予約ジョブ情報、用紙トレイ情報なども表示される。このトップメニュー画面70と図6のオフィスプリント用途のトップメニュー画面60とを比較すると、プロダクションプリント用途では、操作に慣れたユーザが1つの画面で各種操作ができるように、多数の情報が集約されて表示されており、オフィスプリント用途のトップメニュー画面60とはレイアウトや表現方法、表示内容が大きく異なり、ユーザが受ける印象も大きく異なる。

40

【0067】

そして、トップメニュー画面70で「ジョブリスト」のタブを選択すると、図10に示すジョブリスト画面71が表示される。このジョブリスト画面71では、例えば、操作に慣れたユーザがジョブの詳細を確認しやすいように、各種タブ（ここでは「一時保存ジョブ」、「機密ジョブ」、「スケジュール」、「出力予約ジョブ」、「展開状況」、「出力履歴」、「通信履歴」、「未出力履歴」の8つのタブ）が表示される。また、プロダクションプリント用途では、多数のジョブが混在し、文書名や宛先ではジョブが識別しにくくなることから、ファイル名の項目が表示される。また、プロダクションプリント用途では

50

多数のユーザのジョブが混在することから、ユーザ名の項目が表示され、また、プロダクションプリント用途では印刷部数が多くなるため、部数の項目が表示される。

【0068】

また、ジョブリスト画面71で「出力予約ジョブ」のタブを選択すると、図11に示す出力予約ジョブ表示画面72（オフィスプリント用途の実行中ジョブ表示画面61と同等の画面）が表示される。この出力予約ジョブ表示画面72でも、例えば、プロダクションプリント用途では多数のジョブが混在し、文書名や宛先ではジョブが識別しにくくなることから、ファイル名の項目が表示される。また、プロダクションプリント用途では多数のユーザのジョブが混在することから、ユーザ名の項目が表示される。また、プロダクションプリント用途では印刷部数が多くなるため、部数及び残部数の項目が表示される。

10

【0069】

また、出力予約ジョブ表示画面72で「出力履歴」のタブを選択すると、図12に示す履歴表示画面73が表示される。この履歴表示画面73でも、例えば、プロダクションプリント用途では多数のジョブが混在し、文書名や宛先ではジョブが識別しにくくなることから、ファイル名の項目が表示される。また、プロダクションプリント用途では多数のユーザのジョブが混在することから、ユーザ名の項目が表示される。また、プロダクションプリント用途では印刷部数が多くなるため、部数の項目が表示される。このように、プロダクションプリント用途では、操作に慣れたユーザがジョブの詳細を把握できるように、多数の情報が集約されて表示されており、オフィスプリント用途の実行中ジョブ表示画面61や履歴表示画面62とはレイアウトや表現方法、表示内容が大きく異なり、ユーザが受ける印象も大きく異なる。例えば、プロダクションプリント用途の画面では、多数のタブの中から選択する必要がある（その分、熟達したオペレータはアクセスしやすい）ため、オフィスプリントを行うユーザには分かりにくい。また、プロダクションプリント用途の画面では、印刷に係わる様々な機能にアクセスできるが、これもオフィスプリントを行うユーザにとっては分かりにくい。その結果、操作の間違いや戸惑いが発生しやすくなる。

20

【0070】

この問題に対して、本実施例では、受信したジョブに含まれる情報に基づいて、第1の表示形態（オフィスプリント用途の表示形態）あるいは第2の表示形態（プロダクションプリント用途の表示形態）のどちらで画面を表示すべきかを判断し、その判断結果に従って受信したジョブに関する画面を表示するため、オフィスプリント機、プロダクションプリント機のそれぞれを使用するユーザに適する画面を表示することができる。これにより、ユーザが表示形態を切り替える操作を行う必要がなくなり、また、ユーザが慣れていない画面上で操作を行うことによる間違いや戸惑いの発生を防止することができ、適切な操作を迅速に行うことができる。

30

【0071】

なお、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない限りにおいて、その構成や制御は適宜変更可能である。

【0072】

例えば、上記実施例では、オフィスプリント用途の表示形態とプロダクションプリント用途の表示形態との切り替え制御について説明したが、同一の機能に対して用途に応じて表示形態が異なる画面を表示する装置に対して、本発明の表示制御方法を同様に適用することができる。

40

【産業上の利用可能性】

【0073】

本発明は、オフィスプリント機とプロダクションプリント機の双方の機能を備える画像形成装置、当該画像形成装置に表示する画面を制御する表示制御プログラム、当該表示制御プログラムを記録した記録媒体及び表示制御方法に利用可能である。

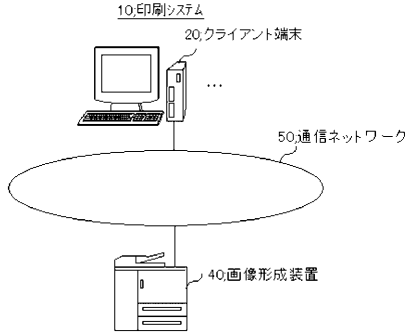
【符号の説明】

【0074】

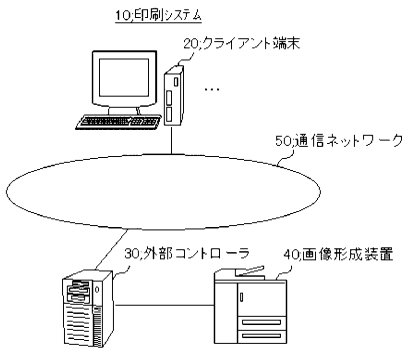
50

1 0	印刷システム	
2 0	クライアント端末	
2 1	制御部	
2 1 a	OS	
2 1 b	アプリケーション	
2 1 c	プリンタドライバ	
2 2	CPU	
2 3	ROM	
2 4	RAM	
2 5	記憶部	10
2 6	ネットワークI/F部	
2 7	表示部	
2 8	操作部	
3 0	外部コントローラ	
4 0	画像形成装置	
4 1	制御部	
4 1 a	ジョブ受付部	
4 1 b	画面判断部	
4 1 c	表示制御部	
4 1 d	ユーザ情報取得部	20
4 2	CPU	
4 3	ROM	
4 4	RAM	
4 5	記憶部	
4 6	ネットワークI/F部	
4 7	表示操作部	
4 8	画像処理部	
4 9	画像形成部	
5 0	通信ネットワーク	
6 0	トップメニュー画面(オフィスプリント用途)	30
6 1	実行中ジョブ表示画面(オフィスプリント用途)	
6 2	履歴表示画面(オフィスプリント用途)	
7 0	トップメニュー画面(プロダクションプリント用途)	
7 1	ジョブリスト画面(プロダクションプリント用途)	
7 2	出力予約ジョブ表示画面(プロダクションプリント用途)	
7 3	履歴表示画面(プロダクションプリント用途)	
8 0	ジャム画面(オフィスプリント機)	
8 1	ジャム画面(プロダクションプリント機)	

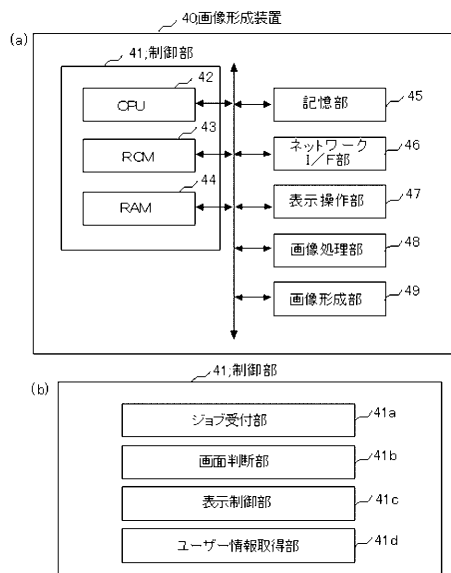
【 図 1 】



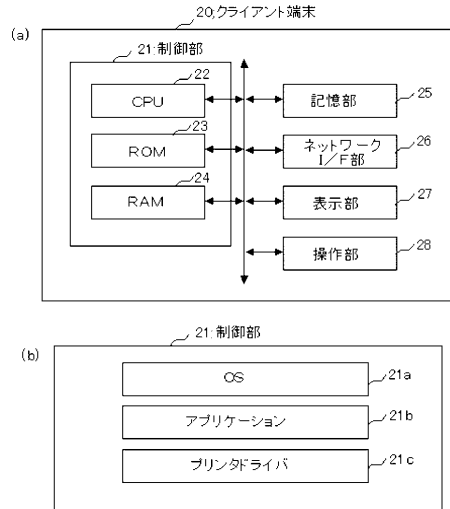
【 図 2 】



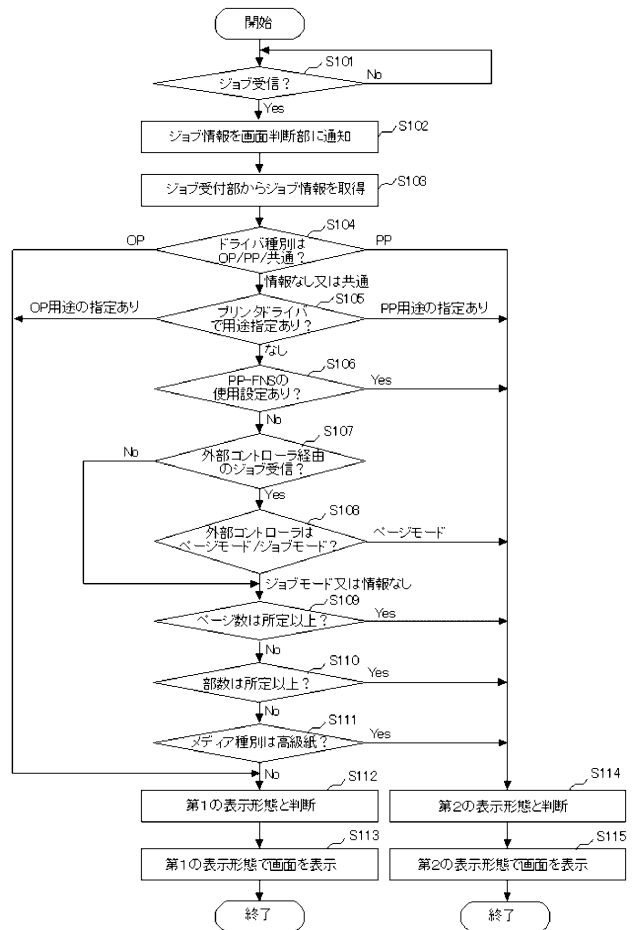
【 図 4 】



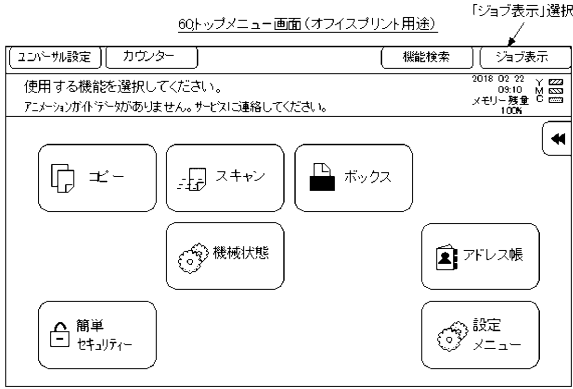
【 図 3 】



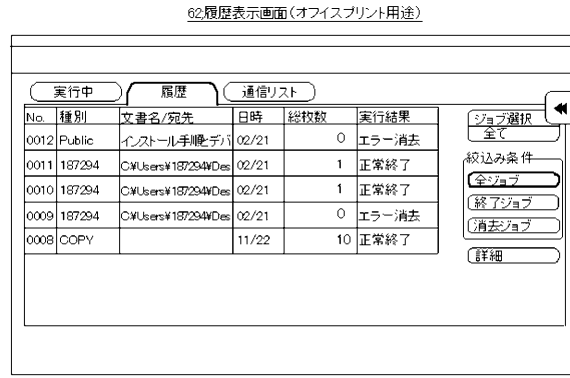
【 図 5 】



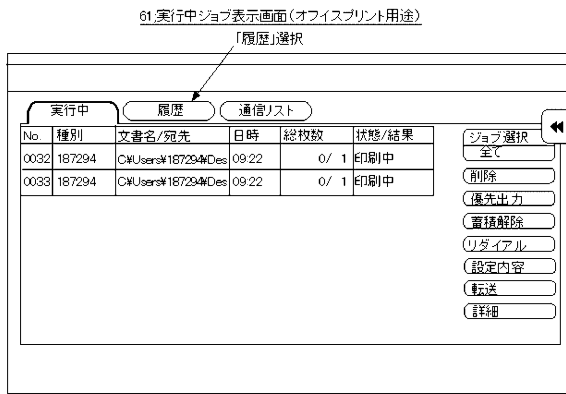
【 図 6 】



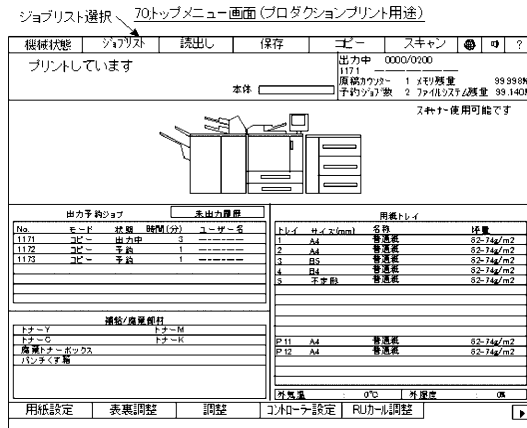
【 図 8 】



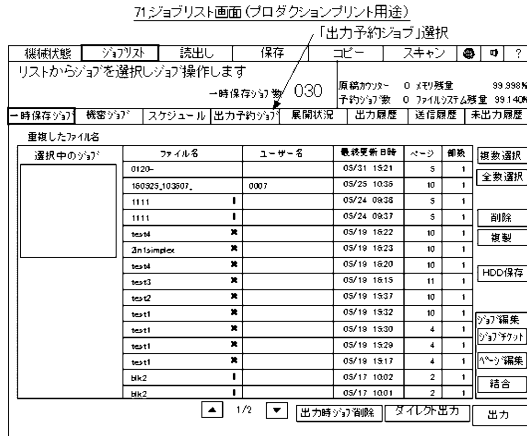
【 図 7 】



【 図 9 】



【 図 10 】



【 図 11 】



【 図 1 2 】

73履歴表示画面(プロダクションプリント用途)

機種状態	ジョブリスト	読出し	保存	コピー	スキャン	?
リストからジョブを選択しジョブ操作します				原稿枚数	1 残り残量	99.99%
				予約ジョブ数	2 ファイル数	99.140%
一時保存ジョブ	機密ジョブ	スケジュール	出力予約ジョブ	展開状況	出力履歴	送信履歴
未出力履歴						

ファイル名	ユーザー名	種類	ページ	前後	時刻	原稿枚数	詳細
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:30	1	
		完了	1	1	15:45	1	

リスト保存して電源OFF 1/2

【 図 1 3 】

(a) 80ジヤム画面(オフィスプリント機)

⚠ 定着ユニット部は高温ですのでご注意ください。

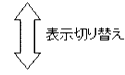
用紙を取り除いてください。 [ジョブ表示]

紙つまりが発生しました。
表示に従って、用紙を取り除き
手差しトレイを正しい位置にセットしてください。

[表示切替]

コード 10-01

[ボックス予約] [スキャン予約]



(b) 80ジヤム画面(オフィスプリント機)

⚠ 定着ユニット部は高温ですのでご注意ください。

用紙を取り除いてください。 [ジョブ表示]

紙つまりが発生しました。
○部の用紙を取り除き
手差しトレイを正しい位置にセットしてください。

[表示切替]

コード 10-01

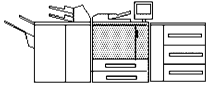
[ボックス予約] [スキャン予約]

【 図 1 4 】

81ジヤム画面(プロダクションプリント機)

機種状態	ジョブリスト	読出し	保存	コピー	スキャン	?
紙つまりです(10-0000) ガイドによって用紙を取り除いて下さい。				出力中	0000/0000	
				11/21		
				原稿枚数	1 残り残量	99.99%
				予約ジョブ数	2 ファイル数	99.140%

1 トレイ3の前面を開けて下さい。
2 垂直搬送部を開けて詰まった用紙を取り除いて下さい。



[イラスト説明] [閉じる]

フロントページの続き

Fターム(参考) 5C062 AA02 AA05 AA35 AB22 AB23 AB38 AB40 AB46 AC04 AC05
AC35 AC58 AF07 AF14